



学校だより

令和4年度小川中学校
令和5年2月28日 発行

NO, 11 文責:小林 浩一

2月の行事より

<2月27日(月)生徒総会での生徒会長あいさつより>

第66期生徒会が始まって、3か月ほど経ちました。12月末に3年生の先輩から引き継ぎ、各委員会で新たな活動が始まりました。12月には、しめ縄作りを行い、新企画では生徒会新聞、挨拶週間、バレンタイン企画を実施しました。私は、これらの活動を通して、一つのことを行うには委員会内での連携や行動力が大切だと思いました。そして、先輩方が行ってきた仕事の大変さを改めて痛感しました。

さて、2月8日に、生徒会サミットがありました。生徒会サミットは、他校の生徒会長と副会長が一堂に会し、互いの生徒会活動についての情報交換や意見交換を通して、生徒会活動の活性化や実践的な態度を育む場です。

小川中学校からは、会長の私と、副会長の悠希さんが参加しました。今年も、新型コロナウイルスの関係で、オンラインという形になってしまいましたが、他校の様々な企画や活動を聞くことができました。戸隠中学校では毎月、スピード挨拶週間というものをしてしていると聞きました。この企画では、先駆け挨拶が活発になるようにするためにするもので、小川中学校でもこのような企画を行ったらさらに活発になるのではないかと思います。

今回の生徒会サミットでは、様々な意見を聞くことができ、私自身、考えていなかった企画や活動を知るきっかけにもなったのでよかったです。今回の生徒会サミットが無事に開催されたのも、関係者を含め多数の方々関わったからこそ実施することができたと感じています。この生徒会サミットで改めて大切だと学んだ「繋がり」や「挨拶の重要性」を、小川中学校の生徒会活動で生かしていきたいと思えます。

そして、第66期生徒会では、私や悠希さんの選挙公約でも挙げたように、「繋がり」を大切にしたいという想いから、次のようなスローガンで活動して行きます。「繋がり～広げよう小川の輪～です。

メインテーマは、全校が仲良くなって、協力して生徒会を盛り上げていきたいという第66期生徒会で最も重要にしたい“繋がり”にしました。

そして、サブテーマは「広げよう小川の輪」にしました。これは、小川中学校の中だけでなく小川村全体でも繋がれるようになりたいという思いが込められています。また、全校の皆さんに覚えてもらいやすいものにもすることも大切だと思いました。昨年度は感謝にあふれる生徒会、一人一人が積極的に参画できる生徒会を目標にしていました。その思いも引き継ぎつつ、第66期では、全校の心がつながることのできる生徒会を目指したいと考えています。

最後になりますが、今日は、皆さんからの意見や提案で有意義な生徒総会になることを期待しています。3年生の皆さんも、最後の生徒総会、アドバイスがあればお願いします。



【挨拶する伊藤会長】



【第66期生徒会スローガン】



【議案書も電子化】

<生徒会活動「挨拶週間」1月30日（月）～2月3日（金）>

朝の7時40分には本部執行、担当委員のみなさんが集合し、登校してくる人に大きな声で挨拶をしていました。その人数総勢10名以上。全校の四分の一の人が、一斉に挨拶するので、何か迫力がありました。昇降口の外でも挨拶をしている人もいました。

この週間で挨拶を見直し、朝はおはようございます、昼はこんにちは、帰りはさようなら、清掃の後にはご苦労様でした。が互いに自然に交わされる小川中になっていくとよいですね。



【挨拶週間での様子】

<2月3日（金）助産師さんによる性教育（2・3年）>

大町総合病院の助産師さんを招いて、2，3年生合同の性教育授業が行われました。内容は二次性徴期の心と体の変化について、異性との人間関係の作り方、10代の性に関する問題、生命の尊重など多岐に渡って講演していただきました。

助産師さんからは、中学生のみなさんが真剣に聴いてくれてうれしかったという感想をいただきました。



【成長の様子を説明する】

～生徒のみなさんの感想より～

ぼくは、あんなに小さい所から命が始まっていたのを見て、たまには、母さん、父さんにありがとうといたたいです。今後は、クラスメイトや身近な人を大切にしたいです。

（2年生男子生徒）

折り紙に空いている（針の先ほどの）穴が、自分たちもそんなに小さかったのかと思いました。今後、自分の体を大切にしていきたい。

（2年生女子生徒）

東日本大震災の時に新しい命がたくさん誕生していて、命はすごく大切に宝物のようなものなんだと思った。私を産んでくれた両親に感謝の気持ちを持ち、自分を大切に生活していきたい。

（3年生女子生徒）

「生きているだけで100点満点」という言葉が心に残っている。私たちはたくさんの人に支えられていることを感じた。体に変化し、私たちは大人に向けて、妊娠に向けて準備しているんだなということを感じた。将来自分が妊娠したら最後までがんばって出産し、子育てをがんばりたい。今自分がいられるのは産んでくれた母親のおかげなので感謝したい。

（3年生女子生徒）

<2月1日（水）～14日（火）図書委員会～バレンタイン企画～

編集・図書委員会の新企画、バレンタイン企画がありました。内容は、期間中に本を一冊借りる毎に配付されるカードにスタンプを押し、3つのスタンプを集め、さらに3冊中の一冊について感想を記入して編集・図書委員に提出すると、景品がもらえるという企画でした。

多くの人がこの企画で本を借りてくれたので、企画の目的である、本への興味、感心を高め、学習センターの利用者を増やすことは達成できたのではないのでしょうか。現在蔵書点検中で貸し出しはできませんが、春休み前には、1，2年生対称に3冊貸し出しをするそうなので、借りてみてください。

< 2月8日（月）授業参観日⑤ 総合的な学習の時間のまとめ >

今年度最終の参観日では、各学年、総合的な学習の時間の授業でした。1年生は、若鷹祭以後も地域学習で疑問に残ったことを3つのコース、グループごとに探求的に追究していました。その中の一つ、自然コースでは、小川村が大昔海の底であったことを視点に、現在の地質、地形を探っていました。小川村にある波の化石、リップルマークや中条村の三本杉などを実際に観察して、様々な考察を行って、大変興味深かったです。

2年生は修学旅行の下見報告を見たり聞いたり、見学場所について親子で話し合っていたりしていて、とても楽しそうでした。他日に、平和学習で学んだことの発表も行っています。

3年生は人権学習のまとめをペア、グループで発表していました。アイヌやLGBTQへの偏見や差別など、社会に今も残る差別について、とても詳しく調べ、自分たちの意見を述べていました。LGBTQは現在同性婚や首相秘書官の発言で話題になっているところです。学年間で発表を聞き会いたい内容でした。



【1年生のテーマ別発表の様子】



【2年生下見報告を見る】



【3年生のグループ別発表】

< 2月3日（金）ピンクシャツ Day～小川中学校人権宣言～ >

ピンクシャツデーとは、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」です。この日賛同者はピンク色のシャツを着たり、ピンク色のものを身につけたりする事で「いじめ反対」の意思を示すというものです。この運動は「いじめ反対」のメッセージとともに、いじめ問題を個人や当事者間だけの問題ではなく社会全体の問題として捉え、いじめの定義・傍観者になること・無関心ということも含め、あらゆるいじめ問題について考える機会となっています。現在は、カナダのみにとどまらず、カナダ団体の運営サイト（2020年時点）によると約180の国と地域から賛同者が現れる運動となり、世界でも更なる広がりを見せております。

今年も、ピンクシャツデーの「人権宣言」が掲示されました。宣言ですので宣言したことを守り、実行していくとで、一人一人を大切にする安心、安全な学校をつくっていきましょう。



【私たちの人権宣言】

< 2月13日（月）心の健康教育（2学年） >

スクールソーシャルワーカーの小巻佳人先生をお招きして、心の健康教育と個別相談を行いました。心の悩みは人間関係のことが多く、生きていく上では避けては通れない問題。それにどのように対処していくかを学びました。悩みは誰かに話すことが重要で、誰か一人でも信頼できる人に話せばよいこと、話せる人がいなければ、スクールカウンセラーや保健士に話せばよいそうです。心の状態が悪くなる前にSOSを出せることが大切です。何か困ったことがあれば、周りの人に相談してください。



【小巻先生の心の授業風景】

【PTA 常任委員会、総役員会ありがとうございました】

2月6日（月）の参観日に併せて、PTA 常任委員会、総役員会が行われました。各専門部において、年間活動の反省、次年度への要望が検討されました。そして、総役員会では、令和5年度 PTA 正副会長および監事の選出と承認がされました。

令和5年度 PTA 会長：西沢健志様、副会長：武田弘幸様、矢口早苗様 監事：原山美奈様、瀧澤栄子様です。次期 PTA をよろしく願いいたします。令和4年度の役員の皆様一年間ご苦勞様でした。



【R5 PTA 三役の皆様方】

【男女バレー部の大会結果について】

女子バレー部 令和4年度 長水1年生交流会

2月4日（土）（会場：篠ノ井東中）

小川・犀陵中〇1－0 篠ノ井西中 小川・犀陵中〇1－0 若穂中
小川・犀陵中〇1－0 豊野中 3勝0敗で1位リーグへ

2月11日（土）（会場：東北中）

小川・犀陵中〇2－0 柳町中 小川・犀陵中×0－2 東北中
結果：第3位

男子バレー部 第46回齊間敏夫杯中学校バレーボール大会

2月5日（日）（会場：戸倉上山田中学校）

グループリーグ戦

小川・中条中×0－1 上田四中 小川・中条中×0－1 更埴西中 小川・中条中×0－1 篠ノ井西中
ブロック4位リーグ戦へ

小川・中条中×0－2 上田六中 小川・中条中×0－2 軽井沢中

【お知らせ】

・卒業式の新型コロナウイルス感染予防対策について

1 マスクの取扱いについて

(1) マスクを外して差し支えない場面

- ・児童生徒、教職員 式全体（入退場、式辞・祝辞等、卒業証書授与、送辞・答辞等）
- ・来賓等 式辞・祝辞等

(2) マスクの着用など一定の感染対策を実施する場面

- ・来賓、保護者等 式全体（座席間に触れ合わない程度の距離確保、参加人数の制限は不要）

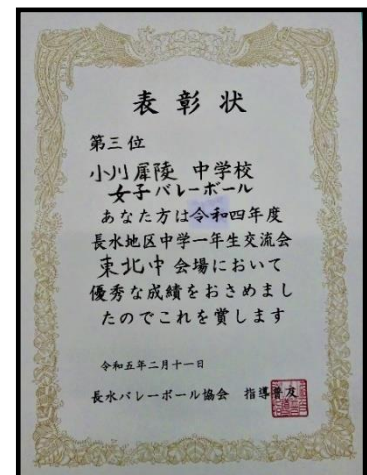
2 留意事項

- ・基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない児童生徒もいたりすることなどから、マスクの着脱については個人の判断を尊重する。
- ・体調に異変のある者は、出席を控える。
- ・濃厚接触者（相当者）陽性者との最終接触日から5日間（6日目解除）が経過するまでは出席を控える。ただし、卒業生は、2日目及び3日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、3日目からマスク着用などの感染対策を実施したうえで参加を可能とする。

(5) 体調に異変のある家族等がいる場合（体調に異変のある家族等が検査で陰性又は健康観察中の場合）卒業生は、マスク着用などの感染対策を実施したうえで参加を可能とする。

(6) 十分な換気や手指消毒など基本的な感染対策を実施する。

(7) 卒業式直前の学校内での感染状況等を勘案して適切な対応を検討する。



【3位の賞状】